

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 くみあい新JコートS80L100L140尿素入り複合肥料04  
整理番号 katakurakopuaguri-81  
作成日 2025/06/01

販売者の会社 会社 : 全国農業協同組合連合会  
情報 住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F  
担当部門 : 耕種資材部  
電話番号 : 03-6271-8285  
FAX番号 : 03-5218-2536  
緊急時の電話番号 : 03-6271-8285

推奨用途 肥料  
使用上の制限 肥料用途以外には使用しないでください

## 2. 危険有害性の要約

### 【GHS分類】

#### 物理化学的危険性

分類基準に該当しない。

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 分類できない

急性毒性（経皮） : 分類できない

急性毒性（吸入:気体） : 分類できない

急性毒性（吸入:蒸気） : 分類できない

急性毒性（吸入:粉塵ミスト） : 分類できない

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 区分2

発がん性 : 区分1A

生殖毒性 : 分類できない

授乳への影響 : 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分に該当しない

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2(腎臓、免疫系、呼吸器系)

誤えん有害性 : 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性） : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期（慢性） : 分類できない

オゾン層有害性 : 分類できない

【GHSラベル要素】  
絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 遺伝性疾患のおそれの疑い  
: 発がんのおそれ  
: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(腎臓、免疫系、呼吸器系)の障害のおそれ

注意書き

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。  
: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと  
: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
応急措置 : 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。  
: ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。  
保管 : 施錠して保管すること。  
廃棄 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有率(%)	CAS RN®	化審法
酸化マグネシウム	1-5	1309-48-4	1-465
結晶質シリカ	1-5	14808-60-7	1-548

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 水で洗い流す。  
眼に入った場合 : 水で数分間洗浄ののち、痛みがある場合は直ちに眼科医の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 周辺の火災状況により、適切な消火剤を使用する。  
使ってはならない消火剤 : 情報なし  
火災時の特有の危険有害性 : 強熱すると悪臭を生じることがある。  
特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
: 容器が熱に晒されているときは、移動しない。  
: 安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。  
: 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具 及び緊急時措置 : 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。
- : 全ての着火源を取り除く。
  - : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
  - : 関係者以外の立入りを禁止する。
  - : 密閉された場所に立入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流出しないように留意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : シート等で覆いをして、飛散拡大の防止を図る。固体は掃き集めて回収する。
- : 危険でなければ漏れを止める。
  - : 本製品が付着したものは、廃棄上の注意の項に従って廃棄する。
- 二次災害の防止策 : 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。
- : 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。
  - : すべての着火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
  - : 河川・下水道等に流出し、環境汚染を起こさないよう注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱いは、換気の良い場所で行うことが望ましい。必要に応じて適切な保護具を着用し、容器は丁寧に扱うこと。
- 安全取扱注意事項 : 消防法の規制に従う。
- : 炎や高温のものから遠ざけること。
- 接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照すること。
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保管
- 安全な保管条件 : 雨、直射日光と高温・高湿を避け、乾燥した換気の良い場所で保管すること。
- : 開封したまま放置すると吸湿して固結するおそれがあるので、使用後は密封して保管すること。
  - : 消防法の規制に従う。
  - : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度／濃度基準値

成分名	管理濃度	産業衛生学会	ACGIH	濃度基準値
酸化マグネシウム	-	2mg/m <sup>3</sup>	TWA:10mg/m <sup>3</sup>	-
結晶質シリカ	-	0.03mg/m <sup>3</sup>	TWA:0.025mg/m <sup>3</sup>	-

- 設備対策 : 作業場に手洗いの設備を設置し、位置を明確にしておく。
- : 作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

- 呼吸用保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 粒体
色	: 混合物（灰色粒、白色粒）
臭い	: 僅かな特異臭
融点／凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 6.0-7.5
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 部分的に可溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 0.85-1.00g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取り扱い条件（常温）では安定。
化学的安定性	: 通常の取り扱い条件（常温）では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。 : 強アルカリ性資材との混用や加熱により、有害ガスを発生する可能性がある。
避けるべき条件	: 加熱・燃焼
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

製品としての有害情報なし	
急性毒性（経口）	情報なし
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（気体）	情報なし
急性毒性（蒸気）	情報なし
急性毒性（粉塵ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性  
酸化マグネシウム

: 区分2 本物質のダスト (濃度不明) にばく露された95名の作業者に軽度の眼刺激性がみられたとの記載 (ACGIH (7th, 2003) から、区分2とした。

呼吸器感受性  
情報なし

皮膚感受性  
情報なし

生殖細胞変異原性  
結晶質シリカ

: 区分2 In vivoでは、気管内注入によるラット肺胞上皮細胞を用いたhprt遺伝子突然変異試験で陽性、投与方法は不明であるが、マウス肺組織のhprt遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ばく露方法は不明ながら、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化DNA傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞のDNA切断試験で陽性である (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000)、IARC 68 (1997))。In vitroでは、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000)、IARC 68 (1997))。以上より、ガイダンスに従い、区分2とした。なお、本物質の遺伝毒性は、当該物質からの、あるいは当該物質による炎症細胞からの活性酸素種に起因すると考えられる (SIDS (2013)、IARC 100C (2012))。

発がん性  
結晶質シリカ

: 区分1A 多くの疫学研究結果において、本物質 (石英) を含む結晶質シリカへの職業ばく露と肺がんリスクの増加との間に正の相関が認められており、特に複数の研究結果をプールし異なるメタ解析を行っても、相対リスクは一貫して有意な増加を示した (IARC 100C (2012)、SIDS (2013))。すなわち、本物質の形状を有する結晶質シリカ粉じんの吸入ばく露によりヒトで肺がんの発症リスクが増加するのは十分な証拠があるとしている (IARC 100C (2012))。一方、実験動物では雌雄ラットに本物質 (空気力学的中央粒子径 (MMAD) : 1.3  $\mu\text{m}$ ) を 1 mg/m<sup>3</sup> で2年間吸入ばく露した試験、また雌ラットに本物質 (MMAD: 2.24  $\mu\text{m}$ ) を 12 mg/m<sup>3</sup> で83週間鼻部ばく露した試験において、ばく露群では肺腫瘍の有意な増加がみられ、組織型としては腺がんが多かった。さらに、雌ラットに本物質 (MMAD: 1.8  $\mu\text{m}$ ) を 6.1、30.6 mg/m<sup>3</sup> で鼻部ばく露した試験でも、用量依存的に肺腫瘍の増加がみられ、組織型では扁平上皮がんが最多で、細気管支/肺胞上皮がん、又は腺腫も多くみられた (IARC 100c (2012))。以上、ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、1997年に「グループ 1」に分類し、2012年の再評価でも分類結果を変更していない (IARC 68 (1997)、IARC 100C (2012))。他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が「第1群」に (産衛学会勧告 (2015))、ACGIHが2004年以降「A2」に (ACGIH (7th, 2006))、NTPが結晶質シリカ (吸入性粒子径) に対して、「K」に分類している (NTP RoC (13th, 2014))。よって、本項は区分1Aとした。

生殖毒性／授乳への影響  
情報なし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)  
酸化マグネシウム

: 区分3 (気道刺激性) 本物質は気道刺激性があるとの報告がある (ACGIH (7th, 2003)、DFGOT vol. 2 (1991)、HSDB (Access on June 2015)) が、その他の急性影響は報告されていない。以上より、区分3 (気道刺激性) とした。

## 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

### 結晶質シリカ

： 区分1(呼吸器系、腎臓、免疫系) ヒトにおいて、多くの疫学研究において、本物質の職業ばく露と呼吸器への影響(珪肺症、肺がん、肺結核)が確認されている。このほか、自己免疫疾患(強皮症、関節リュウマチ、多発性関節炎、混合結合組織疾患、全身性紅斑性狼瘡、シェーグレン症候群、多発性筋炎、結合織炎)、慢性腎疾患及び無症状性の腎変性もみられている(SIDS(2013)、CICAD 24(2000)、DFGOT vol. 14(2000))。この腎臓の疾患は自己免疫が関連していると考えられている(SIDS(2013))。実験動物においても、ラットを用いた反復吸入ばく露試験により肺の線維化が確認されている(SIDS(2013))。したがって、区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。

誤えん有害性  
情報なし

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性・魚毒性  
情報なし

生態毒性・無脊椎動物毒性  
情報なし

生態毒性・藻類毒性  
情報なし

残留性・分解性  
情報なし

生体蓄積性  
情報なし

土壌中の移動性  
情報なし

オゾン層有害性  
情報なし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 肥料として農作物に適量撒くか、廃棄物処理法に従って廃棄する。  
: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。  
: 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理する。

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号 : 情報なし

品名(国連輸送名) : 情報なし

国連分類 : 情報なし

容器等級 : 情報なし

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : 直射日光を避け、容器の破損・漏れ等の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に。雨天時は防水シート等で覆いをする。  
: 『7. 取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと。

### 国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。  
海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う

## 15. 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律	: 指定配合肥料
消防法	: 非危険物
化学物質把握管理促進法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	
第56条 製造許可物質	: 非該当
第57条 名称表示物質	: 酸化マグネシウム : 結晶質シリカ
第57条の2 通知対象物質	: 酸化マグネシウム : 結晶質シリカ
第577条の2 がん原性物質	: 結晶質シリカ (石英)
第594条の2 皮膚等障害化学物質	: 非該当
危険物	: 非該当
特定化学物質障害予防規則	: 非該当
鉛中毒予防規則	: 非該当
四アルキル鉛中毒予防規則	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
化学物質審査規制法	: 非該当

## 16. その他の情報

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

この「安全データシート」は、当社の製品を適正にご使用頂くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の使用を対象としています。

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報の漏れや、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

ここに記載された内容は当社所有の情報によるものであるが、情報の完全さを保証するものではありません。

又、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。

重要な決定事項にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお薦めします。

記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的性質などの値は、品質保証値ではありません。

本 SDS は、片倉コープアグリ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については下記にお問い合わせください。

販売者の会社 会社	: 片倉コープアグリ株式会社
情報	
住所	: 東京都千代田区九段北一丁目8番10号 住友不動産九段ビル 15階
担当部門	: 生産技術本部 生産技術部
電話番号	: 03-5216-6614
FAX番号	: 03-5216-6621
緊急時の電話番号	: 03-5216-6614